

共同研究一覧

研究期間		共同研究名	代表者氏名
開始	終了		
1976	1977	日本民族学史の研究―(1)澁澤敬三	祖父江 孝男
1976	1977	うつわ(器)の用具論的研究	中村 俊亀智
1976	1977	北・中央アジア民族誌の基本文献についての基礎調査	大塚 和義 加藤 九祚
1976	1978	黒アフリカにおける物質文化の比較研究	和田 正平
1976	1978	西アジアにおける文化変容 ―民族と音楽―	藤井 知昭
1976	1978	東南アジアにおける慣習法の研究	石井 米雄
1976	1976	ラテン・アメリカの文化変容	大給 近達
1976	1978	ミクロネシアにおける日本文化の受容過程に関する文献研究	杉本 尚次
1976	1977	民間信仰の民族学的研究	伊藤 幹治
1976	1980	華南における少数民族の伝承に関する基礎資料の調査および蒐集と分類	君島 久子
1976	1976	有用植物の辞書的研究	佐々木 高明
1976	1979	ハルマヘラ島の民族誌的研究	石毛 直道
1976	1978	ペルー国リマ市天野博物館所蔵品の整理研究	梅棹 忠夫 藤井龍彦
1977	1978	民族学におけるコンピュータ利用について	栗田 靖之
1977	1977	新大陸における文化変容	大給 近達
1977	1979	沿オホーツクの物質文化に関する比較研究	大塚 和義
1977	1977	コンピュータによるタイ語古代法典(三印法典)の総字索引	杉田 繁治
1977	1978	有用植物の民族植物学的・辞書的研究	佐々木 高明
1977	1979	牧畜社会の比較研究	谷 泰
1977	1977	民間説話の比較研究―日本民話の研究資料の収集保存および分類整理を通じて―	君島 久子
1977	1978	経済人類学の理論的研究	端 信行
1977	1980	民俗文化における象徴的表現の比較研究	佐々木高明 田邊 繁治 杉本 尚次
1977	1977	日本の村落社会における物質文化の比較研究	梅棹 忠夫
1978	1978	澁澤敬三の漁村研究	祖父 江孝男
1978	1978	「うつわ」および「うつわ」に関する用具の製作をめぐる共同研究	中村 俊亀智
1978	1978	北方民族誌研究における日本人の役割(その1・近世を中心として)	加藤 九祚
1978	1979	憑きものを中心とした民間信仰の研究	伊藤 幹治
1978	1979	心理人類学の理論的研究	祖父 江孝男
1978	1981	計量的方法による民族音楽の研究	藤井 知昭
1978	1981	新大陸の狩猟民文化に関する研究	大給 近達 小谷 凱宣
1978	1978	コンピュータによるタイ語古代法典(三印法典)の総辞索引の作成とその活用	杉田 繁治

共同研究一覧

研究期間		共同研究名	代表者氏名
開始	終了		
1978	1980	民間説話の比較研究	君島 久子
1978	1979	人類学における映像および視覚表現に関する方法論	大給 近達
1978	1979	「茶の文化」に関する総合的研究	守屋 毅
1978	1979	東アジアの祭祀と芸能	高取 正男
1978	1979	土着主義的宗教運動の基礎的比較研究	友枝 啓泰
1979	1979	北方民族誌研究における日本人の役割(近世以後太平洋戦争まで)	加藤 九祚
1979	1981	中央アンデス農牧社会の民族学的研究	友枝 啓泰
1979	1979	東南アジア慣習法における相続慣行の比較研究	石井 米雄
1979	1981	日本における作物栽培技術の成立と展開	佐々木 高明
1979	1979	X線の利用による標本資料の内部構造および材質分析	中村 俊亀智
1979	1980	非破壊分析をともなう日本在来の労働衣服の比較研究	中村 俊亀智
1979	1980	言語データの収集と整理に関する基礎研究	江口 一久
1979	1981	民族学における情報処理の研究	杉田 繁治
1979	1981	イスラム世界における民族音楽の比較研究	藤井 知昭
1979	1981	西アフリカの 에스ノ・テクノロジーに関する比較研究	和田 正平
1979	1981	職業の成立とその分化についての比較研究	野村 雅一
1979	1981	日本における山村文化の伝統と変容	守屋 毅 小山 修三
1979	1980	中央カロリン諸島における伝統的航海術の民族学的研究	石森 秀三
1979	1979	日本文化に関する情報の国際的システム化	祖父 江孝男
1980	1980	海外における日本人の文化変容	栗田 靖之
1980	1981	韓国の伝統文化とその変容	祖父 江孝男
1980	1981	東アジアの民族芸能に関する比較(民俗学的)研究	高取 正男 守屋 毅
1980	1981	接着・接合技術に関する比較民族学的研究	森田 恒之
1980	1981	中国諸民族生活文化の比較研究	佐々木 高明
1980	1980	東南アジアにおける慣習法の研究	石井 米雄
1980	1984	集団の編成と統合	福井 勝義
1980	1980	アジアにおけるシャーマニズムの比較研究	加藤 九祚
1980	1981	非破壊分析等による民族学標本資料の研究	中村 俊亀智
1980	1981	民族芸術学の基礎的研究	木村 重信
1980	1981	アイヌとその周辺民族の物質文化に関する基礎的研究	大塚 和義
1980	1981	東アジアにおける食事文化の研究	石毛 直道

共同研究一覧

研究期間		共同研究名	代表者氏名
開始	終了		
1981	1981	華南少数民族の伝承に関する基礎資料の蒐集と分類	君島 久子
1981	1984	民間伝承の比較研究	君島 久子
1981	1981	文字使用の起源と展開	江口 一久
1981	1981	アジア諸民族におけるシャマニズムの問題	加藤 九祚
1981	1981	情報検索システムのための文化人類学基礎用語集の作成	祖父 江孝男
1981	1982	青木文教師将来チベット文物の研究	佐々木 高明 長野 泰彦
1981	1984	東南アジア・オセアニアにおける文化クラスターの構成と分析	佐々木高明 大林 太良
1981	1983	宗教儀礼と世界観の比較研究	岩田 慶治
1981	1981	アジアにおける音楽の比較研究	藤井 知昭
1981	1982	象徴・分類・認識についての民族学的研究	松原 正毅
1981	1981	宗教と社会変化のメカニズム	伊藤 幹治
1981	1981	オセアニアにおける物質文化の比較研究 1) 図録作成のための所在調査および方法論的検討	杉本 尚次
1981	1983	日本および周辺地域諸民族住居の比較研究	杉本 尚次
1981	1981	国立民族学博物館所蔵の労働衣服の基礎的分析	中村 俊亀智
1981	1983	儀礼—文化と形式的行動の研究	黒田 悦子 青木保
1981	1982	サタワル語辞典の共同編纂	石森 秀三
1981	1981	アメリカにおける日本食の変容	石毛 直道
1982	1982	中国諸民族における伝承資料の収集と分類	君島 久子
1982	1983	日本および周辺における文化的アイデンティティの比較	竹村 卓二
1982	1984	ユーラシアと北アメリカにおける北方狩猟採集民文化の比較研究	小谷 凱宣
1982	1983	熊送り儀礼の比較研究—アイヌを中心として	大塚 和義
1982	1982	東アジアの民族芸能に関する比較研究	守屋 毅
1982	1984	日本における畑作農耕文化の総合的研究	佐々木 高明 松山 利夫
1982	1983	諸民族の芸術的諸表現における様式の比較研究	藤井 知昭
1982	1984	民族技術からみたアフリカ諸文化の比較研究	和田 正平
1982	1983	文字使用の通文化的研究	江口 一久
1982	1984	東アジアにおける食事文化の比較研究	石毛 直道
1982	1983	アンデス・ヒマラヤ・アルプス—高度差利用の比較研究—	藤井 龍彦
1982	1982	山村・漁村・農村—日本における村落の比較研究	小山 修三
1982	1983	ミクロネシアの民俗文化のエスノヒストリーの研究	牛島 巖
1982	1982	民博所蔵の労働着の民族技術学的研究	中村 俊亀智

共同研究一覧

研究期間		共同研究名	代表者氏名
開始	終了		
1982	1983	民族芸術的世界の構造	木村 重信
1982	1984	人文科学研究におけるコンピュータ利用	杉田 繁治
1983	1985	計画思考と民族技術学	中村 俊亀智
1983	1985	パプア・ニューギニアにおける社会文化変容の比較研究	畑中 幸子 吉田 集而
1983	1983	象徴・分類・認識の民族学的研究	松原 正毅
1983	1985	エドワード・S・モースとそのコレクションに関する研究	守屋 毅
1983	1985	民族資料を中心とした文化遺物の保存と修理に関する基礎的研究	森田 恒之
1984	1984	文化研究における普遍主義と個別主義	青木 保
1984	1985	奄美・沖縄の宗教的世界	伊藤 幹治
1984	1984	創造の人類学的研究	岩田 慶治
1984	1986	オセアニアの民族文化における個別性と普遍性の民族学的研究—ミクロネシアとポリネシアのエスノヒストリー—	牛島 巖
1984	1986	言語遊戯の民族誌	江口 一久
1984	1986	アイヌにおける通過儀礼の体系化と周辺民族との比較研究	大塚 和義
1984	1985	イスラームの民族学的研究	片倉 素子
1984	1984	ピウスツキ北方資料の総合的研究	加藤 九祚
1984	1986	民族とは何か	川田 順造
1984	1986	中国少数民族に関する基礎的研究	佐々木 高明
1984	1987	文化的プラクティスとイデオロギー—人類学的認識論との関連において—	田邊 繁治
1984	1984	アンデス・ヒマラヤ・アルプス—交換と交易—	藤井 龍彦
1984	1984	諸民族の芸術的行動における表現様式に関する比較研究	藤井 知昭
1984	1986	オーストロネシアの産育慣行の比較研究	松澤 員子
1984	1986	認識と象徴の民族学的研究	松原 正毅
1985	1987	ASIANIZED INDIAの宗教と言語	井狩 彌介 長野 泰彦
1985	1987	東南アジア・オセアニアにおける文化クラスター・文化項目の相関性の研究	大林 太良
1985	1986	アッサム地域の民族誌研究	栗田 靖之
1985	1986	北アメリカ大陸の民族芸術	小谷 凱宣
1985	1987	オーストラリア社会の研究	小山 修三
1985	1986	モデル構成による民族学研究	杉田 繁治
1985	1987	伝統的住居の保存と活用に関する民族学的研究	杉本 尚次
1985	1985	現代日本の家族関係のミクロ人類学的研究	野村 雅一
1985	1986	地域間経済システムの民族学的研究	藤井 龍彦

共同研究一覧

研究期間		共同研究名	代表者氏名
開始	終了		
1985	1987	アジア諸民族における音楽民族誌の比較研究	藤井 知昭
1985	1987	アフリカ諸民族の技術誌の整理と分析	和田 正平
1986	1987	戦後沖縄社会の日常的世界とその変容にかんする民族学的研究	伊藤 幹治
1986	1987	創世神話と民族集団の形成	君島 久子
1986	1987	シベリアにおける原住民文化の変容過程	黒田 信一郎
1986	1986	日本語系統論の方法に関する基礎的研究	崎山 理
1986	1987	民族芸術, 主として絵画工芸からみたユーラシア諸民族の伝統的文化の伝播と変容	杉村 棟
1986	1987	アンデス・アマゾンの宗教と儀礼—ジャガー信仰をめぐる諸問題—	友枝 啓泰
1986	1987	近代産業と民族技術	中村 俊亀智
1986	1987	文化としての身体の民族学的研究	野村 雅一
1986	1987	満州族を中心とする中国東北部の文化複合—満州文化の周辺諸民族におよぼした影響—	畑中 幸子
1986	1988	生態と文化の共生	福井 勝義
1987	1989	比較文明の方法論の研究	杉田 繁治
1987	1988	韓国社会の人類学的研究—方法論の検討—	杉山 晃一
1987	1989	漢族の地域性とアイデンティティ—中国南部を中心とした整理と分析—	竹村 卓二
1987	1988	中南米の宗教と社会	中牧 弘允
1987	1987	常温揮散型ピレスロイド系殺虫剤の民族学資料への応用	森田 恒之
1987	1989	パプアニューギニアにおける伝統的社会の研究	吉田 集而
1988	1990	成人T細胞白血病の民族疫学的研究	石毛 直道
1988	1990	旅と観光に関する民族学的研究	石森 秀三
1988	1990	ヒンドゥー的世界観に関する民族学的研究	永ノ尾 信悟
1988	1990	アイヌ関係資料の国内コレクション所在調査とその民族学研究への活用	大塚 和義
1988	1990	オーストラリアにおけるアボリジニと白人社会	小山 修三
1988	1990	農耕と牧畜社会の生活様式の比較民族学的研究—用具論から象徴論まで—	佐々木 高明
1988	1990	住居空間の民族学的研究	杉本 尚次
1988	1990	性と文化的表象に関する比較研究	須藤 健一
1988	1989	服装の比較文化論的基礎研究—服装関連シンソーラスの評価—	大丸 弘
1988	1990	南アジア諸パンテオンの表現方法	立川 武蔵
1988	1991	上座部仏教社会の宗教	田邊 繁治
1988	1990	民族技術の継承と革新	垂水 稔
1988	1990	音楽民族誌の比較研究	藤井 知昭

共同研究一覧

研究期間		共同研究名	代表者氏名
開始	終了		
1988	1989	台湾原住諸民族の民俗概念に関する比較研究	松澤 員子
1988	1988	ピレスロイド系殺虫剤の民族学資料への応用	森田 恒之
1988	1990	アフリカ社会の国家形成を中心とした社会変動の民族学的研究	和田 正平
1988	1989	集団間における言語使用の人類学的研究	和田 祐一
1989	1991	オーストロネシア民族の拡散と変容に関する人類学的研究	秋道 智彌
1989	1990	エスニックな出会い—文化の葛藤と創造—	黒田 悦子
1989	1990	韓国社会：伝統の形成とそのトランスフォーメーション	嶋陸 奥彦
1989	1991	諸民族における経済機構の比較研究—比較民族学的枠組の構築—	端 信行
1989	1989	ポリネシアにおけるマイクロデモグラフィーに関する研究	畑中 幸子
1989	1990	自然と文化の重層性に関する人類学的研究	福井 勝義
1989	1991	遊牧の歴史と現在	松原 正毅
1990	1992	ラテン・アメリカにおける原住民と“インディヘニスモ”	友枝 啓泰
1990	1991	アマゾン河流域の生態と文明	中牧 弘允
1990	1992	チベット・ビルマ系諸民族の言語文化	長野 泰彦
1990	1992	東南アジア島嶼部における法文化の人類学的研究	宮本 勝
1991	1993	観光現象の総合的研究	石森 秀三
1991	1993	口誦詩の通文化的研究	江口 一久
1991	1993	アイヌ民具の集成と分析	大塚 和義
1991	1994	ヨーロッパ基層文化の研究	川田 順造
1991	1993	ヒマラヤ—自然, 人間, 社会	栗田 靖之
1991	1992	明治年間のアイヌ研究史の再検討	小谷 凱宣
1991	1992	オーストラリア・アボリジニの物質文化	小山 修三
1991	1992	服装データベース構築のための基礎的理論	大丸 弘
1991	1993	中国大陸少数民族の「漢化」の諸側面—儀礼を中心とした整理と分析—	竹村 卓二
1991	1993	女神—性と聖をめぐる比較文化論	田中 雅一
1991	1992	ヨーロッパ周縁地域の民族問題と移民・難民・亡命	畑中 幸子
1991	1993	北東アフリカにおけるエスノシステムの実証的研究	福井 勝義 佐藤 俊
1991	1993	音の文化をめぐる表徴の比較研究	藤井 知昭
1991	1992	台湾及びその周辺諸語における古層の言語学的・民族学的研究	松澤 員子
1991	1993	民族学資料を中心とする博物館展示照明の基礎研究	森田 恒之
1991	1993	アフリカ社会における性差の伝統的構造と近代化	和田 正平

共同研究一覧

研究期間		共同研究名	代表者氏名
開始	終了		
1992	1994	酒と飲酒の文化	石毛 直道
1992	1992	鳥居龍蔵の見たアジアの研究—写真と標本資料の分析を中心に—	佐々木 高明
1992	1994	世界の周辺諸民族の現在	清水 昭俊
1992	1994	中東および中央アジアの絨毯の民族芸術学的研究	杉村 棟
1992	1994	南アジアにおける宗教図像の研究	立川 武蔵
1992	1993	宗教体系と民族誌記述の方法	田村 克己
1992	1993	文化としての発展に関する経済人類学的研究	端信 行
1992	1994	遊牧の歴史民族学的研究	松原 正毅
1992	1993	国家時代におけるパプア文化	吉田 集而
1993	1994	水産資源利用の人類学的研究—生態・歴史・文化	秋道 智彌
1993	1994	数理民族学:その応用的研究	小山 修三
1993	1994	技術の比較文明学研究	杉田 繁治
1993	1995	服装データベース構築のためのドキュメンテーション手法	大丸 弘
1993	1995	ラテン・アメリカにおける“文明像”の学際的研究	友枝 啓泰
1993	1994	会社とサラリーマンの文化人類学的研究	中牧 弘允
1993	1994	シナ・チベット諸民族の言語文化	長野 泰彦
1993	1996	心身障害の比較民族学的研究	野村 雅一
1993	1994	ヨーロッパ周縁地域における民族問題—「国家」と民族意識—	畑中 幸子 庄司博史
1993	1995	マヤの織物の民族学的研究	八杉 佳穂
1993	1995	東アジアにおける機織り技術の民族学的研究	吉本 忍
1994	1997	新しい視覚情報開発のための民族誌映画の分析と活用	大森 康宏
1994	1996	民族学関連データベースの作成および利用状況の調査のための基礎研究	久保 正敏
1994	1996	シーボルト家コレクションの研究	熊倉 功夫
1994	1996	民族誌的現在の歴史的文脈	栗本 英世
1994	1995	韓国社会:高度経済成長下のフィールドワーク	嶋陸 奥彦
1994	1996	東南アジアにおける社会倫理の人類学的研究	田村 克己
1994	1996	中国大陸諸民族の移住とエスニティー華南地域を中心とした整理と分析—	塚田 誠之
1994	1995	諸民族音楽の伝統性と変容性に関する比較研究	藤井 知昭
1994	1995	博物館展示の評価—その課題と展望—	森田 恒之
1994	1997	独立後のアフリカにおける国家政治と民族関係の総合的研究—共存の伝統とネオ・エスノセントリズムの関係—	和田 正平
1995	1996	熱帯における生物資源利用の戦略とその変容	秋道 智彌

共同研究一覧

研究期間		共同研究名	代表者氏名
開始	終了		
1995	1997	アメリカ合衆国における「多民族性」の性格についての研究	五十 嵐武士
1995	1997	文化相対主義の再検討	川田 順造 大塚 和夫
1995	1995	ユーラシアにおける遊牧民族形成の歴史民族学的研究	小長 谷有紀
1995	1997	現代アーネムランド・アボリジニ社会の研究—先住民土地権の制度化をめぐる—	小山 修三 細川 弘明
1995	1996	周辺世界の文化的状況と人類学	清水 昭俊
1995	1996	中東における伝統工芸の装飾意匠及び製作技法の伝播と変容	杉村 棟
1995	1997	聖性と世界との関係に関する研究	立川 武蔵
1995	1995	時間認識と言語	長野 泰彦
1995	1997	都市における先住民社会の研究	松山 利夫
1995	1997	ヒマラヤ高地における環境利用の民族学的研究	山本 紀夫
1995	1997	オセアニア近代史の人類学的研究	吉岡 政徳
1995	1997	近代における「異文化」像の形成	吉田 憲司
1995	1996	イスラーム復興運動—中央アジア, 西アジアとアフリカの関係—	松原 正毅
1995	1996	農村開発の比較研究—中央アメリカ, 東南アジアとアフリカ—	山田 睦男
1995	1996	西アジア社会の重層的構造	松原 正毅 後藤 明
1995	1995	宗教的政治権力の在り方—東南アジアと西ヨーロッパ—	松原 正毅
1995	1996	熱帯林における生物多様性の保全と利用	吉田 集而 井上 民二
1995	1996	オセアニア島嶼国の国家統合と国民文化に関する研究	吉田 集而 須藤 健一
1995	1996	地域研究と地域概念	松原 正毅 古川 久雄
1995	1996	統合運動と分離運動の比較研究	白杵 陽
1996	1998	北方先住民社会における交易	大塚 和義
1996	1997	ユーラシアにおける遊牧民族形成の歴史民族学的研究—チュルク—モンゴル系諸集団の重層性—	小長谷 有紀
1996	1998	狩猟採集社会の比較研究	小山 修三
1996	1997	近代産業製品の登場により形成された生活様式の研究	近藤 雅樹
1996	1998	近代における象徴としての言語	庄司 博史
1996	1998	人類学の解釈学的転回	杉島 敬志
1996	1997	デジタルミュージアムのための基礎的研究	杉田 繁治
1996	1997	会社文化と企業博物館の人類学的研究	中牧 弘允
1996	1998	ボン教文化の基礎的研究	長野 泰彦
1996	1998	ラテンアメリカにおけるメスティサへの研究	藤井 龍彦
1996	1996	博物館展示手法の評価—課題と方法論—	森田 恒之

共同研究一覧

研究期間		共同研究名	代表者氏名
開始	終了		
1996	1996	南アジアにおける宗教・権力・社会	押川 文子
1996	1996	地域社会の変化と女性	押川 文子
1996	1996	アメリカの対外関係における民主主義の意味	大津留 智恵子
1996	1996	発展途上諸国の構造改革と社会政治変動	山田 睦男
1996	1996	根栽農耕論：オセアニア地域における根栽農耕	吉田 集而
1996	1997	民族学的概念のプレゼンテーション手法に関する研究	石毛 直道 栗田 靖之
1996	1997	博物館情報マルチメディア・ネットワークに関する研究—情報展示のための基礎的研究—	杉田 繁治
1997	1999	熱帯における環境利用と世界システムの人類学的研究	秋道 智彌
1997	1999	「もの」を通して見た朝鮮民俗文化	朝倉 敏夫
1997	1999	現代の東北アジア諸民族の文化変化に関する研究	煎本 孝
1997	1999	在欧米日本生活文化資料の調査研究	熊倉 功夫
1997	1999	音楽の概念と行動の比較研究	櫻井 哲男
1997	1999	福音と文明化の人類学的研究	杉本 良男
1997	1998	ドラッグ文化の諸相	武井 秀夫
1997	1998	マンデからフルベヘ—世界システムと西アフリカ史—	竹沢 尚一郎
1997	1998	認知と実践—人類学的アプローチ—	田邊 繁治
1997	1997	東南アジア諸社会における倫理観の人類学的研究	田村 克己
1997	1999	中国における諸民族の移動と文化の動態—いわゆる周縁地域を中心として—	塚田 誠之
1997	1999	平等・不平等の原理にもとづく社会的共存に関する比較研究	寺嶋 秀明
1997	1999	物語と民衆世界—アラビアン・ナイトの生態学—	西尾 哲夫
1997	1999	台湾原住民族写真資料による民族学的研究	吉本 忍
1997	1997	民族学の発表手段としての活字メディアと電子メディアのあり方に関する研究	小山 修三
1997	1998	新しい展示技法の開発と子どもと博物館のコミュニケーションに関する研究	端信 行
1998	1998	ジョージ・ブラウンコレクションの研究	石森 秀三
1998	1999	二〇世紀における民族誌的映画の分析と分類研究	大森 康宏
1998	1999	アボリジニ社会とオーストラリア行政の相互作用に関する研究	久保 正敏
1998	2000	民族の運動とその指導者たち—歴史と個人の動態的関係の研究	黒田 悦子
1998	2000	ユーラシアにおける家畜儀礼の比較研究	小長谷 有紀
1998	1999	歴史の人類学的考察	清水 昭俊
1998	1999	デジタルミュージアムのプロトタイプの研究	杉田 繁治
1998	2000	「都市的なるもの」とは何か？	関根 康正

共同研究一覧

研究期間		共同研究名	代表者氏名
開始	終了		
1998	2000	博物館・美術館における合成素材の保存に関する基礎的研究	園田 直子
1998	2000	癒しと救いの民族学的研究	立川 武蔵
1998	1999	会社文化と会社儀礼の人類学的研究	中牧 弘允
1998	2000	現代アフリカにおける社会変容と文化運動の比較民族学的研究	端 信行
1998	1999	国家と先住民族—旧英領植民地における土地権・生業変化・文化運動を中心に	細川 弘明
1998	1998	民族音楽学の再構築	水野 信男
1998	2000	熱帯高地における環境の利用と保全に関する総合的研究	山本 紀夫
1998	2000	少数民族と法制度に関する比較研究	横山 廣子
1998	2000	近代日本の「異文化」像と「自文化」像の形成	吉田 憲司
1998	2002	民族学の発表形式としてのマルチメディアの研究	小山 修三 久保 正敏
1999	2001	地球環境問題に関する応用人類学的研究	池谷 和信
1999	2001	自律的観光の総合的研究	石森 秀三
1999	2000	新生殖技術時代の人類学	上杉 富之 宇田川 妙子
1999	2001	北太平洋における先住民の経済システムとその変容過程	大塚 和義
1999	2001	先住民による海洋資源利用と管理	岸上 伸啓
1999	2001	紛争の政治化と軍事化	栗本 英世 松田 素二
1999	2000	アチック・ミュージアム・コレクションの研究	近藤 雅樹
1999	2000	消滅の危機に瀕した人類言語の予備的調査研究	崎山 理
1999	2000	東アジアの狩猟採集文化の研究	佐々木 史郎
1999	1999	実践コミュニティの再検討	田邊 繁治
1999	1999	ボン教文化の総合的研究	長野 泰彦
1999	2000	中央アンデス造形芸術の研究	藤井 龍彦
1999	2000	民族音楽学の課題と方法	水野 信男
1999	2000	ヨーロッパ人類学の可能性	森 明子
1999	2000	メラネシアにおける都市と都市文化の人類学的研究	吉岡 政徳
2000	2002	アジアにおける環境保全と生態史の人類学的研究	秋道 智彌 池谷 和信
2000	2002	周極地域のエスニシティとアイデンティティに関する研究	煎本 孝
2000	2001	アボリジニ社会とオーストラリア行政の関係史	久保 正敏
2000	2001	マイホームのパーспекティブ—空間のあらたな共有性へ向けて	佐藤 浩司
2000	2001	日本の多言語化現象についての総合的研究	庄司 博史
2000	2002	電子博物館の展示企画	杉田 繁治

共同研究一覧

研究期間		共同研究名	代表者氏名
開始	終了		
2000	2001	南アジア音楽・芸能研究の再検討	寺田 吉孝
2000	2002	東地中海地域における文化的資源と共生の様態	野村 雅一
2000	2002	ポスト「新秩序体制」インドネシアにおける地方的アイデンティティの人類学的研究	中村 潔
2000	2002	中国における民族表象の人類学・歴史学的研究—南部地域を中心とした整理と分析	長谷 川清
2001	2002	韓国現代生活文化の基礎的研究	朝倉 敏夫
2001	2003	ジェンダー／セクシュアリティと多文化主義	宇田 川妙子
2001	2003	昔話と家族	江口 一久
2001	2002	ラテンアメリカ社会文化システム再考	木村 秀雄
2001	2002	柳宗悦と民芸運動の研究	熊倉 功夫
2001	2002	モンゴル遊牧システムにおける維持可能メカニズムの解明	小長 谷有紀
2001	2003	アチックミュージアム・コレクションの形成過程に関する研究	近藤 雅樹
2001	2003	キリスト教と「文明化」の人類学的研究	杉本 良男
2001	2002	マンダラの構造と機能	立川 武蔵
2001	2003	「伝統」の表象とジェンダー	千野 香織 池田 忍
2001	2002	会社文化のグローバル化に関する人類学的研究	中牧 弘允
2001	2003	アラビアン・ナイトの比較文明学—共鳴する東洋と西洋	西尾 哲夫
2001	2003	時間的枠組みと多元的共生社会に関する研究	横山 廣子
2001	2001	不活性気体を利用した大型民族学資料の虫害防除法の研究	森田 恒之
2002	2003	先住民による水産資源の分配と商業流通	岸上 伸啓
2002	2003	国立民族学博物館所蔵資料の保存対策	園田 直子
2002	2002	イスラーム世界の音文化と表演文化の研究—インターアーツ理論による	水野 信男
2002	2004	西部太平洋島嶼民の居住戦略：資源利用と外界接触	印東 道子
2002	2004	モノに見る生活文化とその時代に関する研究—国立民族学博物館所蔵の大村しげコレクションを通して—	横川 公子
2002	2004	文化遺産管理とツーリズムに関する研究	西山 徳明
2002	2004	ジェサップ北太平洋調査を追試する(1902-2002)—極東シベリア—北米大陸先住諸民族の文化変容—	谷本 一之
2002	2004	ポストコロニアル・アフリカ：その動態と課題	竹沢 尚一郎
2002	2004	人類学的知識の使われ方・使い方—医療・開発・教育	田村 克己
2002	2004	世界における「白人」の構造化	藤川 隆男
2003	2003	宗教行為の分析に関する諸概念の研究	立川 武蔵
2003	2004	日本コロンビアの「外地」録音に関するディスコグラフィ的研究	細川 周平
2003	2004	在日外国人と日本社会の多民族化	庄司 博史

共同研究一覧

研究期間		共同研究名	代表者氏名
開始	終了		
2003	2004	環日本海文化に関する人類学的研究:その環境、資源、交易をめぐって	大塚 和義
2003	2004	会社文化と宗教文化の経営人類学的研究	中牧 弘允
2003	2005	口頭伝承と文字文化—日本の民俗社会における知識と情報の伝承—	笹原 亮二
2003	2005	音楽と身体に関する民族美学的研究	山田 陽一
2003	2005	モンゴル高原における環境保全型経済の構築	小長谷有紀
2003	2005	国立民族学博物館を活用した異文化理解教育のプログラム開発	森茂 岳雄
2003	2005	韓国社会:グローバル化の中の諸局面	朝倉 敏夫
2003	2005	中国における民族表象のポリティクス—南部地域を中心とした人類学・歴史学的研究	塚田 誠之
2004	2006	運動の現場における知の再編	宇田 川妙子
2004	2006	日本の文化人類学教育における「知」の再検討	岡田 浩樹
2004	2006	中国の社会変化と再構築—革命の実践と表象を中心に	韓 敏
2004	2006	インドネシアにおける「近代」の咀嚼	鏡味 治也
2004	2006	ドメスティケーションの民族生物学的研究	山本 紀夫
2004	2006	インカ帝国再考:「帝国」概念の解体と帝国像の受容過程に関する研究	關 雄二
2004	2007	国立民族学博物館所蔵資料の総合的保存管理:システム構築にむけての基礎的研究	園田 直子
2004	2007	多元的共生空間の創成に関する研究	横山 廣子
2004	2007	ストリートの人類学	関根 康正
2004	2007	「先住民」とはだれか?—先住民族イデオロギーの潜勢的/顕在的形態とその社会歴史的背景に関する研究	窪田 幸子
2004	2007	ポスト社会主義における民族学的知識の位相と効用:制度としての人類学の多元性解明にむけて	高倉 浩樹
2004	2007	「思い出」はどこにいくのか?:ユビキタス社会の物と家庭にかんする研究	佐藤 浩司
2004	2007	人類学における比較研究の再構築に向かって	出口 顯
2004	2007	沿岸水域利用社会の変容:海洋環境保全と参加型開発	松本 博之
2004	2007	展示という語りの多様性と政治性に関する研究	川口 幸也
2004	2007	グローバル化がもたらす保健システムの変貌	池田 光穂
2004	2007	健康・医療・身体・生殖に関する医療人類学の応用的研究	波平 恵美子
2004	2007	災害に関する人類学的研究	林 勲男
2004	2007	開発援助の人類学的評価法	鈴木 紀
2004	2007	テキスト学の構築に向けて	齋藤 晃
2005	2006	ジャワ更紗を基軸としたテキスタイルのグローバル化に関する人類学的研究	吉本 忍
2005	2007	開発と先住民族	岸上 伸啓
2005	2007	地球環境史の構築に関する人類学的研究	池谷 和信

共同研究一覧

研究期間		共同研究名	代表者氏名
開始	終了		
2005	2007	会社神話の経営人類学	日置 弘一郎
2005	2008	家の人類学—新たなる親族研究に向けて	小池 誠
2005	2008	ヘリテージ(遺産)の所有と利用に関する観光文明学的研究	西山 徳明
2005	2008	「夷酋列像」の文化人類学的研究	大塚 和義
2005	2008	伝統芸能の映像記録の可能性と課題	福岡 正太
2006	2008	ポストモダニズム時代における市民参加とグローバリズム:日本そしてアジア	出口 正之
2006	2008	世界の諸言語における態(voice)の類型論的研究	中村 涉
2006	2008	人類学における韓国研究の再検討—日韓の新しい研究協力関係の構築	朝倉 敏夫
2006	2009	小・中学校、高等学校の国際理解教育の理論と実践に関する研究	阿久 津昌三
2006	2009	南アジアにおける都市の人類学的研究	三尾 稔
2006	2009	社会主義的近代化の経験に関する歴史人類学的研究	小長谷 有紀
2006	2009	生業と生産の社会的布置	松井 健
2006	2009	ソーシャル概念の再検討—ヨーロッパ人類学の問いかけ	森 明子
2006	2009	マオイスト運動の台頭と変動するネパール	南 真木人
2006	2009	マダガスカルの文化的多様性に関する研究	飯田 卓
2006	2009	民族文化資源の生成と変貌—華南地域を中心とした人類学・歴史学的研究	武内 房司
2006	2009	東アジア・東南アジア地域におけるコミュニティの政治人類学	平井 京之介
2006	2009	脱植民地期オセアニアの多文化的公共圏の比較研究	柄木 田康之
2006	2009	アラブ世界における音文化のしくみ	堀内 正樹
2007	2009	国立民族学博物館所蔵の琉球資料の研究	佐々木 利和
2007	2009	日本における移民言語の基礎的研究	庄司 博史
2007	2009	アイヌ語を中心とする国立民族学博物館所蔵北方諸言語音声資料の分析	中川 裕
2007	2009	知識と行為の相互関係からみる呪術的諸実践	白川 千尋
2007	2010	国籍とパスポートの人類学	陳 天璽
2007	2010	地域SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)を活用した新しい地域コミュニティの構築に関する研究	杉本 星子
2007	2010	キリスト教文明とナショナリズム—人類学的研究	杉本 良男
2007	2010	民俗資料保存論の構築と素材に応じた保存処理法の開発	日高 真吾
2007	2010	日本人類学史の研究	山路 勝彦
2007	2010	博物館におけるアイヌ民族とその文化の展示のあり方の再検討	スチュアート・ヘン!
2007	2010	カナダにおける先住民芸術の歴史的展開と知的所有権問題—国立民族学博物館所蔵の北西海岸インディアンとイヌイットの版画の整理と分析を通して	齋藤 玲子
2007	2010	「政治的アイデンティティ」とは何か?—解放運動としての先住民運動	太田 好信

共同研究一覧

研究期間		共同研究名	代表者氏名
開始	終了		
2008	2010	捕鯨文化に関する実践人類学的研究	岸上 伸啓
2008	2010	聖空間の経営人類学的研究	中牧 弘允
2008	2010	オーストラリア多文化主義の過去・現在・未来—共生から競生へ	関根 政美
2008	2011	人類の移動誌:進化的視点から	印東 道子
2008	2011	ポスト社会主義以後の社会変容—比較民族誌的研究	佐々木 史郎
2008	2011	マイノリティと音楽の複合的關係に関する人類学的研究	寺田 吉孝
2008	2011	平和・紛争・暴力に関する人類学的研究の可能性	小田 博志
2008	2011	中国における社会と文化の再構築—グローカリゼーションの視点から	韓 敏
2008	2011	ウェルビーイング(福祉)の思想とライフデザイン	鈴木 七美
2008	2011	フェアトレードの思想と実践	鈴木 紀
2008	2011	民族学博物館における表現創出を活用した異文化理解プログラムの開発～多元的な場での“気づきの深化”のデザイン化～	西 洋子
2008	2011	リスクと不確実性、および未来についての人類学的研究	東賢 太朗
2008	2011	生の複雑性をめぐる人類学的研究:「第四世界」の新たな記述にむけて	小田 亮
2008	2011	ジェンダー視点による「仕事」の文化人類学的研究	中谷 文美
2008	2011	民俗行事における造り物の多様性	福原 敏男
2008	2011	リプロダクションと家族のオルタナティブデザイン—文化と歴史の視点から	松岡 悦子
2009	2012	朝鮮半島北部地域の民俗文化に関する基礎的研究	朝倉 敏夫
2009	2012	言語の系統関係を探る—その方法論と歴史学研究における意味—	菊澤 律子
2009	2012	オセアニアにおける独立期以降の<紛争>に関する比較民族誌的研究	丹羽 典生
2009	2012	サファリングとケアの人類学的研究	浮ヶ谷 幸代
2009	2012	プラント・マテリアルをめぐる価値づけと関係性	落合 雪野
2009	2012	アジア・アフリカ地域社会における<デモクラシー>の人類学—参加・運動・ガバナンス	真崎 克彦
2009	2012	映像の共有人類学—映像をわかちあうための方法と理論	村尾 静二
2009	2009	ユーラシアと日本—交流と表象	小長谷 有紀
2010	2012	中国における民族文化の資源化とポリティクス—南部地域を中心とした人類学・歴史学的研究	塚田 誠之
2010	2013	驚異譚にみる文化交流の諸相—中東・ヨーロッパを中心に	山中 由里子
2010	2013	人類学における家族研究の新たなる可能性	小池 誠
2010	2013	日本の移民コミュニティと移民言語	庄司 博史
2010	2013	手織機と織物の通文化的研究	吉本 忍
2010	2013	非境界型世界の研究—中東的な人間関係のしくみ	堀内 正樹
2010	2013	日本の「近代化」をアジア・アフリカ諸社会との比較で再検討する	川田 順造

共同研究一覧

研究期間		共同研究名	代表者氏名
開始	終了		
2010	2013	海外における人類学的日本研究の総合的分析	桑山 敬己
2010	2012	日本におけるネイティブ人類学／民俗学の成立と文化運動—1930年代から1960年代まで	重信 幸彦
2010	2012	映像資料を活用したイスラームの多様性に関する地域間比較研究	吉本 康子
2010	2012	交錯する態度への民族誌的接近—連辞符人類学の再考、そしてその先へ	岩佐 光広
2010	2012	内陸アジアの宗教復興—体制移行と越境を経験した多文化社会における宗教実践の展開	藤本 透子
2010	2010	人間文化資源の保存環境研究	園田 直子
2011	2013	梅棹忠夫モンゴル研究資料の学術的利用	小長谷 有紀
2011	2014	パレスチナ・ナショナリズムとシオニズムの交差点	菅瀬 晶子
2011	2013	実践と感情—開発人類学の新展開	関根 久雄
2011	2014	人の移動と身分証明の人類学	陳 天璽
2011	2014	NGO活動の現場に関する人類学的研究—グローバル支援の時代における新たな関係性への視座	信田 敏宏
2011	2014	物質性の人類学(物性・感覚性・存在論を焦点として)	古谷 嘉章
2011	2014	ストリート・ウィズダムとローカリティの創出に関する人類学的研究	関根 康正
2011	2014	ネパールにおける「包摂」をめぐる言説と社会動態に関する比較民族誌的研究	名和 克郎
2011	2014	グローバリゼーションの中で変容する南アジア芸能の人類学的研究	松川 恭子
2011	2014	現代の保健・医療・福祉の現場における「子どものいのち」	道信 良子
2011	2014	音盤を通してみる声の近代—台湾・上海・日本で発売されたレコードの比較研究を中心に	劉 麟玉
2011	2013	帰還移民の比較民族誌的研究—帰還・故郷をめぐる概念と生活世界	奈倉 京子
2012	2014	災害復興における在来知—無形文化の再生と記憶の継承	橋本 裕之
2012	2014	熱帯の「狩猟採集民」に関する環境史的研究—アジア・アフリカ・南アメリカの比較から	池谷 和信
2012	2014	贈与論再考—「贈与」・「交換」・「分配」に関する学際的比較研究	岸上 伸啓
2012	2014	肉食行為の研究	野林 厚志
2012	2014	触文化に関する人類学的研究—博物館を活用した“手学問”理論の構築	廣瀬 浩二郎
2012	2015	明治から終戦までの北海道・樺太・千島における人類学・民族学研究と収集活動—国立民族学博物館所蔵のアイヌ、ウイльта、ニヴフ資料の再検討	齋藤 玲子
2012	2015	アジア・オセアニアにおける海域ネットワーク社会の人類学的研究—資源利用と物質文化の時空間比較	小野 林太郎
2012	2015	「統制」と公共性の人類学的研究—ミャンマーにおけるモノ・情報・コミュニティ	土佐 桂子
2012	2014	現代消費文化に関する人類学的研究—モノの価値の変化にみるグローバル化の多元性に着目して	小川 さやか
2012	2014	ランドスケープの人類学的研究—視覚化と身体化の視点から	河合 洋尚
2012	2014	「国家英雄」から見るインドネシアの地方と民族の生成と再生	津田 浩司
2013	2015	映像民族誌のナラティブの革新	川瀬 慈
2013	2016	聖地の政治経済学—ユーラシア地域大国における比較研究	杉本 良男

共同研究一覧

研究期間		共同研究名	代表者氏名
開始	終了		
2013	2016	米国本土先住民の民族誌資料を用いるソースコミュニティとの協働関係構築に関する研究	伊藤 敦規
2013	2016	表象のポリティックス—グローバル世界における先住民／少数者を焦点に	窪田 幸子
2013	2016	エージェンシーの定立と作用—コミュニケーションから構想する次世代人類学の展望	杉島 敬志
2013	2016	宗教人類学の再創造—滲出する宗教性と現代世界	長谷 千代子
2013	2016	東南アジアのポピュラーカルチャー—アイデンティティ、国家、グローバル化	福岡 まどか
2013	2016	近代ヒスパニック世界における文書ネットワーク・システムの成立と展開	吉江 貴文
2013	2015	宗教の開発実践と公共性に関する人類学的研究	石森 大知
2013	2015	再分配を通じた集団の生成に関する比較民族誌的研究—手続きと多層性に注目して	浜田 明範
2014	2017	現代「手芸」文化に関する研究	上羽 陽子
2014	2017	近世カトリックの世界宣教と文化順応	齋藤 晃
2014	2017	家族と社会の境界面の編成に関する人類学的研究—保育と介護の制度化／脱制度化を中心に	森 明子
2014	2017	政治的分類—被支配者の視点からエスニシティと人種を再考する	太田 好信
2014	2016	生活用品から見たライフスタイルの近代化とその国別差異の研究	鏡味 治也
2014	2017	呪術的实践＝知の現代的位相—他の諸実践＝知との関係性に着目して	川田 牧人
2014	2017	資源化される「歴史」—中国南部諸民族の分析から	長谷川 清
2014	2017	モノにみる近代日本の子どもの文化と社会の総合的研究—国立民族学博物館所蔵多田コレクションを中心に	是澤 博昭
2014	2016	演じる人・モノ・身体—芸能研究とマテリアリティの人類学の交差点	吉田 ゆか子
2015	2018	チベット仏経古派及びボン教の護符に関する記述研究	長野 泰彦
2015	2019	グローバル化時代のサブスタンスの社会的布置に関する比較研究	松尾 瑞穂
2015	2018	驚異と怪異—想像界の比較研究	山中 由里子
2015	2018	応援の人類学—政治・スポーツ・ファン文化からみた利他性の比較民族誌	丹羽 典生
2015	2018	考古学の民族誌—考古学的知識の多様な形成・利用・変成過程の研究	ジョン・アートル
2015	2018	宇宙開発に関する文化人類学からの接近	岡田 浩樹
2015	2018	放射線影響をめぐる「当事者性」に関する学術的研究	中原 聖乃
2015	2018	医療者向け医療人類学教育の検討—保健医療福祉専門職との協働	飯田 淳子
2015	2018	個-世界論—中東から広がる移動と遭遇のダイナミズム	齋藤 剛
2015	2018	確率的事象と不確実性の人類学—「リスク社会」化に抗する世界像の描出	市野 澤潤平
2015	2017	高等教育機関を対象にした博物館資料の活用に関する研究	呉屋 淳子
2015	2018	驚異と怪異の表象—比較研究の試み	山中 由里子
2016	2019	捕鯨と環境倫理	岸上 伸啓
2016	2017	世界のビーズをめぐる人類学的研究	池谷 和信

共同研究一覧

研究期間		共同研究名	代表者氏名
開始	終了		
2016	2018	もうひとつのドメスティケーション—家畜化と栽培化に関する人類学的研究	卯田 宗平
2016	2018	会計学と人類学の融合	出口 正之
2016	2018	「障害」概念の再検討—触文化論に基づく「合理的配慮」の提案に向けて	廣瀬 浩二郎
2016	2019	物質文化から見るアフロ・ユーラシア沙漠社会の移動戦略に関する比較研究	縄田 浩志
2016	2019	音楽する身体間の相互作用を捉える—ミュージッキングの学際的研究	野澤 豊一
2016	2019	現代日本における「看取り文化」の再構築に関する人類学的研究	浮ヶ谷 幸代
2016	2018	消費からみた狩猟研究の新展開—野生獣肉の流通と食文化をめぐる応用人類学的研究	大石 高典
2016	2019	テクノロジー利用を伴う身体技法に関する学際的研究	平田 晶子
2017	2022	博物館における持続可能な資料管理および環境整備—保存科学の視点から	園田 直子
2017	2022	人類学/民俗学の学知と国民国家の関係—20世紀前半のナショナリズムとインテリジェンス	中生 勝美
2017	2020	文化人類学を自然化する	中川 敏
2017	2022	ネオリベラリズムのモラルティ	田沼 幸子
2017	2019	モノをとおしてみる現代の宗教的世界の諸相	八木 百合子
2018	2022	オセアニア・東南アジア島嶼部における他者接触の歴史記憶と感情に関する人類学的研究	風間 計博
2018	2022	伝統染織品の生産と消費—文化遺産化・観光化によるローカルな意味の変容をめぐる	中谷 文美
2018	2021	心配と係り合いについての人類学的探求	西 真如
2018	2022	統治のフロンティア空間をめぐる人類学—国家・資本・住民の関係を考察する	佐川 徹
2018	2022	グローバル時代における「寛容性/非寛容性」をめぐるナラティブ・ポリティクス	山 泰幸
2018	2022	カネとチカラの民族誌：公共性の生態学にむけて	内藤 直樹
2018	2021	拡張された場における映像実験プロジェクト	藤田 瑞穂
2019	2022	沙流川調査を中心とする泉靖一資料の再検討	大西 秀之
2019	2022	グローバル化時代における「観光化/脱-観光化」のダイナミズムに関する研究	東 賢太郎
2019	2022	食生活から考える持続可能な社会—「主食」の形成と展開	野林 厚志
2019	2022	社会・文化人類学における中国研究の理論的的定位—12のテーマをめぐる再検討と再評価	河合 洋尚
2019	2022	人類史における移動概念の再構築—「自由」と「不自由」の相克に注目して	鈴木 英明
2019	2022	島世界における葬送の人類学—東南アジア・東アジア・オセアニアの時空間比較	小野 林太郎
2019	2022	感性と制度のつながり—芸術をめぐる「喚起」と「評価」のプロセスから考える	緒方 しらべ
2019	2022	モビリティと物質性の人類学	古川 不可知
2020	2022	海外フィールド経験のフィードバックによる新たな人類学的日本文化研究の試み	片岡 樹
2020	2022	「描かれた動物」の人類学—動物×ヒトの生成変化に着目して	山口 未花子
2020	2022	月経をめぐる国際開発の影響の比較研究—ジェンダーおよび医療化の視点から	新本 万里子

共同研究一覧

研究期間		共同研究名	代表者氏名
開始	終了		
2020	2022	環北太平洋地域の先住民社会の変化、現状、未来に関する学際的比較研究——人類史的視点から	岸上 伸啓
2020	2022	不確実性のなかでオルタナティブなコミュニティを問う——モノ、制度、身体のからみあい	森 明子
2020	2022	戦争・帝国主義と食の変容——食と国家の関係を再考する	宇田川 妙子
2020	2022	日本列島の鵜飼文化に関するT字型学際共同アプローチ——野生性と権力をめぐって	卯田 宗平
2020	2022	先住民と情報化する社会の関わり	近藤 祉秋
2021	2024	現代アジアにおける生殖テクノロジーと養育——ジェンダーとリプロダクションの学際的比較研究	白井 千晶
2021	2024	観光における不確実性の再定位	土井 清美
2021	2024	民博所蔵東洋音楽学会資料に基づく日本民俗音楽の再構成と再活性化	植村 幸生
2021	2024	被傷性の人類学／人間学	竹沢 尚一郎
2021	2024	日本人による太平洋の民族誌的コレクション形成と活用に関する研究——国立民族学博物館所蔵朝枝利男コレクションを中心に	丹羽 典生
2021	2024	伝承のかたち「触れる」プロジェクト——「3Dプリント×伝統素材・技法」のアプローチから	宮坂 慎司
2022	2024	ミックスをめぐる帰属と差異化の比較民族誌——オセアニアの先住民を中心に	山内 由理子
2022	2024	国立民族学博物館所蔵木製品標本資料にもとづく森林資源利用史の研究——桶と樽に着目して	落合 雪野
2022	2024	グローバル資本主義における多様な論理の接合——学際的アプローチ	中川 理
2022	2024	アジアの狩猟採集民の移動と生業——多様な環境適応の人類史	池谷 和信
2023	2025	フォト・エスノグラフィーの実践に関する方法論の検討	岩谷 洋史
2023	2025	国立民族学博物館の資料収集活動に関する研究——創設後50年のレビュー	飯田 卓
2023	2025	アフリカの人びとはいかに「アフリカ史」を語ってきたか——アフリカのローカルな歴史からみた「アフリカ史学史」	中尾 世治